

教育相談

072-941-3365

情報推進

072-943-5785

研究・研修

072-943-5784

教育センター  
Web サイトは  
こちらから

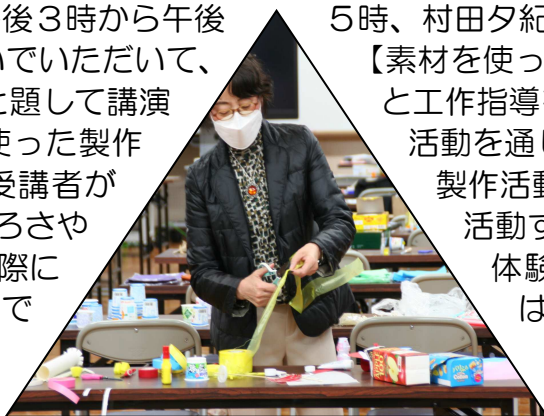


「認め合い ともに生き未来を切り拓く八尾の教育」をめざして

## 幼児教育 初任ステージ 造形

12月3日（金）午後3時から午後5時、村田夕紀さん（造形教室研究所 子どものアトリエ代表）においでいただき、【素材を使った制作活動～つくって遊ぶおもしろさ 環境構成～】と題して講演

研修では、素材を使った製作解するため、実際に受講者が作って遊ぶおもしろさや声掛け、先生方が実際に持つことができたので最後に子どもたちに、とが必要かについて



5時、村田夕紀さん（造形教室研究所 子どもの【素材を使った制作活動～つくって遊ぶおもしろと工作指導を行っていただきました。

活動を通して、遊びのおもしろさについて理解製作活動を行いました。様々な素材を使う活動中での工夫、子どもへの関わり体験し製作する中で様々な気づきはないかと思えます。また、研修のどのような環境構成をしていくこともご講義をいただきました。

### 《受講者の感想》



・画用紙やお花紙などの性質を理解する事も、子どもたちに指導をするうえでとても大切なことだと思いました。

・自分が実際に作ってみて「こんなことしようかな」「こうしたらおもしろいかな」と考えて作る事ができ、子どもたちにも自分で考えて作る楽しさを味わってほしいと改めて思いました。

・用具の使い方も自分なりの仕方で伝えていたので、“こんなに簡単にできるんだ”“分かりやすい”と感じ、明日の保育から実践していきたいと思えます。

・豊かな表現へつなげるための環境構成を私たちがどのような事に気をつけていくのか具体的な指導のポイントを聞く事もでき分かりやすかったです。



## 教職員研修について

令和3年 11 月9日(火)午後3時30分より第5回特別支援コーディネーター研修及び第2回特別支援教育研修を teams リアルタイム配信により行いました。

講師には、和歌山大学教育学部より米澤 好史（よねざわよしふみ）先生（臨床発達心理士スーパーバイザー・上級教育カウンセラー・学校心理士スーパーバイザー・カウンセラー）にお願いして、『発達障害と愛着障害の理解と支援～実践編～』と題してご講演いただきました。

米澤先生は学校教育・学習指導・発達支援・青少年育成・子育て等に関するわかりやすく楽しい講演を多数開催しており、教育現場だけでなく NPO 団体や地域との連携を通し、こどもの特性理解とその支援（愛着障がい・発達障がい等）のコンサルテーション、学習支援、発達支援、いじめ問題支援等、多岐にわたり活躍されておられます。本市においても、市内の研修、巡回相談をはじめ、様々な面でお世話になっています。



**★間違った愛着障害の理解**

- ①施設、虐待だけに特有×⇒通常家庭  
愛着障害は[誰にでも]起こりうる
- ②産んだ、育てた親のせい×⇒  
[関係性]の障害 = [相性]
- ③取り戻せない、手遅れ×⇒  
×臨界期・敏感期  
[いつでも]取り戻せる
- ④親にしか形成・修復は無理×⇒  
[誰にでも]形成・修復可能

★親以外の関係性構築が親子関係の改善につながる！

研修参加者は、市内小中学校・義務教育学校から 40 名、就学前施設から 15 名の計 55 名で、発達障がいと愛着障がいの違いや関係性をはじめ、見立て方や具体的な対応について事例を交えながら学ぶことができました。受講された先生方からは、「こどもの問題行動には、必ず何らかの理由があると日々模索しながら対応している中で、愛着障がいの視点から考えていくと、こどもの理解がさらに深まると思いました。」など、大変参考になったとの感想が寄せられていました。

米澤先生の研修資料より

米澤先生の著書である  
「事例でわかる！愛着障害」  
（ほんの森出版）  
と  
「愛着関係の発達の理論と支援」  
（金子書房）  
は  
教育センター情報公開室に所蔵して  
おりますのでご活用下さい。

**○発達障害と愛着障害の関係**

先天的な脳障害を持って生まれてきた発達障害のこどもが、後天的に関係性障害である愛着障害を併せ持つことは、当然ありえる。精神医学会ではまだ認められていないが、愛着障害の支援では、発達障害と愛着障害を併せ持つこどもがいるという理解が絶対必要である（米澤, 2020a ; 2020b）。

(図1) 発達障害と愛着障害の関係

月刊家庭療育教育2020.6月号(古井, 2020;米澤, 2020a)

# ICT 研究推進校中間報告会

1月24日にICT研究推進校中間報告会が美園小学校で行われました。美園小学校の中間報告会の目標は、「ユニバーサルデザインの視点に立ち、どの児童も学習に意欲的に取り組み、ICTを活用しながら、友だちの考えを交流し、お互いに高めあう」と設定されており、支援学級の公開授業も行われました。各学年とも、掲示物とICTを併用する等、デジタルとアナログの利点をうまく融合した授業展開でした。

4年生の国語では、自分たちで作った慣用句の問題を児童生徒用端末で共有し、友だち同士で問題を出し合い、解答していました。3段階のレベルに応じた問題は、児童の実態に応じて、作る側も、解答する側も一生懸命に取り組んでおりました。

支援学級では学習の流れを提示する等、板書と授業支援ソフトをうまく組み合わせ、視覚的にサポートした授業でした。

1年生の算数「形づくり」は授業支援ソフトの定規機能を使い、ドット図（点描）で形を作り、工夫を発表させるなど、ICTを活用して、点と線の概念を感じられる授業でした。

5年生の社会「自動車産業」は、インターネットを使って、自分たちで調べ、完成させた発表シートを、拡大表示しプレゼンする等、1人1台端末の環境を効果的に活用していました。

公開授業の後は兵庫教育大学の小川修史准教授の講演会が校長室と各教室をWebでつないで行われました。「ICTはアナログを盛り上げるための道具」というキーワードからICTを使ったコミュニケーションの充実について、講演いただきました。

中間報告会の内容は八尾市教職員対象に期間限定のオンデマンドで配信されます。参加できなかった教職員も動画共有サービスを使って視聴することができます。



支援学級国語



4年生国語



1年生算数



5年生社会



公開授業後の講演

## 教育センター「情報公開コーナー」

教育センターB棟（東側）の2階に「情報公開コーナー」があります。各種教育関係図書・雑誌等を配架しています。もちろん「教科書センター」として八尾市で採択している教科書や他社の教科書もあります。研修等で来所された時に直接ご覧いただければ幸いです。教科書・その他書籍・雑誌等も2週間の貸し出しを行っております。今回は11月から12月に入った雑誌の種類とタイトル・目次の一部を紹介いたします。

### 「指導と評価」（日本教育評価研究会）12月号

- ・特集1 個別最適な学びと協働的な学び
- ・特集2 フィールドで学ぶ  
その他



### 「道徳教育」（明治図書）12月号

- ・特集 絵本 de 道徳×歌 de 道徳
- ・内容 絵本、歌、TV、ポスター・・・身近な素材を教材化する手順  
おすすめ曲と内容項目対象リスト  
その他
- ・特別企画 シンガーソングライター・つっちょさんが歌に込めた思い

### 「月間学校教育相談」（ほんの森出版）12月号

- ・特集1 子どもの実態が豹変するとき
- ・特集2 教師自身の「コロナ疲れ」のケア

### 「特別支援教育研究」（全日本特別支援教育連盟編集、東洋館出版社）12月号

- ・特集 子どもの笑顔をふやす「からだ」へのアプローチ  
～子どもの「運動発達」とその支援を再考する～

### 「初等教育資料」（文部科学省編集、（株）東洋館出版社発行）12月号

- ・特集Ⅰ 1人1台端末等の効果的な活用①
- ・特集Ⅱ 「家庭」課題を解決する力を養う家庭科の授業づくり

### 「中等教育資料」（文部科学省編集、学事出版）12月号

- ・特集 高等学校の学習指導と学習評価の工夫改善②<地理歴史、公民、保健体育>
- ・教育小景 津田雄一（宇宙航空研究開発機構 教授）

### 教育科学「国語教育」（明治図書）12月号

- ・特集 子どもの思考が動く授業×動かない授業
- ・Special 企画1 子どもの「思考のスイッチ」どう入れる？
- ・Special 企画2 国語科で鍛えたい「超思考力」とは？



### 教育科学「社会科教育」（明治図書）12月号

- ・特集 「主体的に学習に取り組む態度」を育てる授業づくりと評価

### 「新しい算数研究」（新算数教育研究会編集、東洋館出版社）12月号

- ・特集 資料・能力ベースの単元をいかに設計するか①  
—今までの単元構成と何を変えるべきかなのか—